



NPO POP NEWS=(略して)『Npop'n』

新宿NPO協働推進センターから、社会貢献活動に関連したPOPなNEWS(話題)をお伝えします！

～2030年のその先へ。次世代とともに描く持続可能な未来社会～

今号では、6月28日(土)に開催した『NPO×学生・次世代×ポストSDGs』の様子を紹介します。

2030年が期限のSDGs(Sustainable Development Goals=持続可能な開発目標)の目標達成が厳しい状況にある中で、学生・次世代を担う若者とNPOは、この現状をどう捉え、その先のポストSDGsについてどう取り組んでいけばよいのかなどについて活発な意見交換/交流を行いました。

【基調講演・ファシリテーター】

早田 幸 氏(早稲田大学社会科学総合学術院 社会科学部 教授)

【登壇団体/登壇者】

中尾 芽生 氏(NPO法人国際ボランティア学生協会 IVUSA)

水澤 恵 氏(NPO法人国際協力NGOセンター JANIC 事務局長)

森山 誉恵 氏(認定NPO法人3keys 代表理事)



◎基調講演：早田 幸(そうだ おさむ) 氏

SDGsの目標期限である2030年の達成はほぼ絶望的と言われています。SDGsに関心のある人は50%、実際に取り組んでいる人は20%以下と、日本は世界的に見ても低い水準にあります。関心があるのに取り組まない理由には、取り組む理由や道筋が分からない、目標設定が高すぎるなど様々です。

SDGsの取組みには行政、市民社会、民間企業、さらには中間セクターも関係していて、NPOは様々な団体・組織と協働しています。行政や地域社会の役割が縮小している中、SDGsの取組みにおいて、NPOの存在意義は高まっています。

各セクターは、それぞれ課題が多く厳しい状況にあり、そこに若者がどう絡むのかが重要だと思います。行政からも、社会的起業家やスタートアップなどの台頭が期待されています。ただし、若者が頑張ろうと思う気持ちになる状況を整えられるか？チャレンジする価値があると考えられるか？支援体制・リスク管理は整理できるか？等、SDGsの取組みに参画する若者が増えるような環境を整える必要があります。

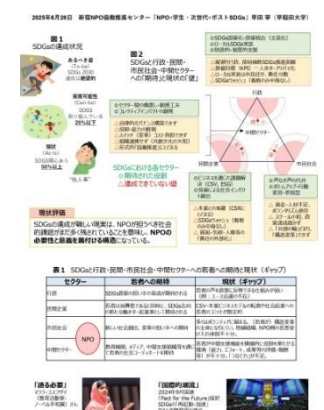
昨年の国連未来サミットで発表された「Pact for the Future(未来のための協定)」の中で、SDGsはこのままだと2030年時点で、目標未達成になってしまいうことが予測され、その先の「ポストSDGs」について触れられています。

SDGsへの取組みを再起動して加速させる必要があり、そのための具体的な56の行動が掲げられ、その中でもDXと金融政策の強化が重要なポイントになっています。

目標達成に向けての取組みを推進していくには、国や地方自治体が連動して行動できるかどうか重要です。活動に参加する人を増やすためには当事者の方々が「発信する」「伝える」ことが大切で、誰かが言い出さないと世の中は変わりません。みんなは一緒に変える仲間であり、若い人が当事者として発信することで変わっていくのです。



早田 氏



基調講演資料

◎事例紹介①中尾 芽生(なかお めい) 氏

IVUSAは「ともに生きる社会実現」をビジョンに掲げ、1993年設立、2002年にNPO法人となった学生主体のボラティア団体です。現在約80大学、2,700人の学生が27支部に所属しています。活動は「国際協力」「環境保護」「地域活性化」「災害救援」「子どもの教育支援」の5分野が中心です。

SDGsに関する認識などを20歳前後の学生44人にアンケートした結果、認知度は100%、約半数が17の目標全部を知っていると回答していました。

関心の高い目標は、「貧困をなくそう」「すべての人に健康と福祉を」「つくる責任つかう責任」で、「積極的に」「時々」を合わせて、約9割が実際に取り組んでいました。一方で、2030年の期限までの達成見込みは「ほとんど達成されない」「一部が達成される」と回答していて、その障壁として、「お金がかかる」「効果が見えない」「一人では意味がない」などを挙げています。このほか6割の回答者が進路選択の際にSDGsへの取組みをある程度重視するなどとしています。

若者はSDGsへの関心が高く、行動力がありますが、学校での取組みが少なく、また金銭的余裕や成功体験が少なく、期限までの目標達成は厳しいと感じています。このことから、若者に対しては、①具体的な行動機会と成功体験の提供、②進捗の可視化と希望の提示が必要と考えています。



中尾氏



参考資料

◎事例紹介②水澤 恵(みずさわ めぐみ) 氏

2015年に国連サミットで採択されたSDGsは、誰もが安定して暮らし続けられるように考えられた国際的な目標で、2030年までに達成することを目指しています。国際的な取組み目標ですが、各国の政府だけでなく、民間団体、国際協力を行う団体の活動も重要です。JANICは、それらをつなぐ役割を担っています。

SDGs達成には、多くの資金、多くの参画者が必要ですが、日本のNGOは総じて脆弱で、当団体でも組織を強化するための研修や関係者のスキルを確認し、高める研修を提供しています。また、提言活動に加えて、SDGsの取組みや成果を破壊する行動をしている国々への中止要求活動なども行っています。

また、「グローバルフェスタJAPAN」や「学生アイデアコンテスト」を開催したり、NGO・国際協力の最新情報を発信するメディアの運営を行うなど国際協力への理解促進と情報の発信にも力を注いでいます。

国際協力とは、地球的規模の課題に取り組むことで、それが国内か海外かを問いません。東日本や能登などの災害支援、多文化共生の取組みやSDGsの教育（開発教育）をする団体も多いです。

SDGsの本質は人権であり、誰もが取り残されない社会を目指していきたいと考えています。



水澤氏

SDGsの本質は「人権」



参考資料

◎事例紹介③森山 誉恵(もりやま たかえ) 氏

3keys（スリー・キーズ）は、国内の子どもたちの支援活動をしているNPOです。

2009年、大学生6人で任意団体として立ち上げ、養護施設の子供たちに勉強を教えるボランティア活動から始め、児童養護施設外に活動を広げました。理念は「ないがしろにされていい子どもはいない」です。生まれてきた家庭の状況によらず、すべての子どもたちは子どもの権利を保障されるべきです。日本では虐待通告があっても施設に入れる子供はごく少数で、ほとんどの子供は元の家庭に戻ってしまいます。施設入所や家庭の経済力に関わらず、本来保証されるべき安全・安心な環境があるかどうか大切です。

支援の内容は年齢で違います。10歳までは生死の問題になります。10歳を超えるとある種の生きる力で何とかできるようにはなりますが、犯罪等に巻き込まれる恐れも高くなります。学力は自己肯定感にも関わるので、学習支援も必要です。また、思春期には思春期の課題からくる難しさもあり、10代向けの準シェルター型の居場所も運営しています。このように3keysは、行政では実施しておらず、月数回のボランティアでは対応できないような支援を、行っています。



森山氏

当団体は、2015年にSDGsが採択される前から活動していますが、そのベースは子どもの権利条約です。SDGsの目標の中では、「貧困をなくす」「教育をみんなに」「不平等をなくそう」「福祉を全ての人に」などが活動に関係していると思っています。

◎トークセッション/交流タイム

- (質問) SDGsに取り組む上で、お金や取組みの効果が見えないなど阻害要因があるということでしたが、どういうサポート、環境整備があれば取組みを続けられると思いますか？
- (中尾) 資金についてはクラウドファンディングで確保したことがあります。SDGsに関心があって支援してくれる人も多いと思います。こうした人の思いを受け取って活動すること考えられます。取組みの効果を可視化するのは難しいと思いますが、活動後の振り返りを確実に行うことで参加者の課題解決能力を高めることにもなります。これが個々人のスキルと相乗して卒業後の取組みにも反映していくと思います。
- (質問) 「SDGsは大事だけれど、またSDGsか」などと思う人もいますがどう感じられていますか？
- (早田) 一緒に関わる仲間を探して、活動することで意味を理解してもらう。一緒に活動し、結果を喜び合うと行動が変わってくるのではないのでしょうか？
- (質問) 阻害要因として、達成できたかを確認できないということがあるのではないのでしょうか？
- (早田) 達成基準は、個人によって違うと思います。自分なりの基準を決め、それを達成すればいいのではないのでしょうか。また、仲間でお互いを認め合うというのも良いと思います。
- (早田) 今日のイベントを通じてのまとめを、各自お願いします。
- (中尾) 若者がSDGsに関心が高いのは問題を背負う世代だからだと思います。少し上の世代は、2030年に向けて活動しているから当事者意識が高いと思いますが、若者は2030年までに達成できない問題について、どうすればいいのかという事態に直面します。サポートや環境整備では分野では、時間やコストをかけずに取り組める関わりやすいシステムを作ることが必要だと感じています。
- (森山) 自分のやりたいことを主体的に続けてきた人は何処へ行ってもどうにか出来ると思います。これからの時代、どの会社も主体的に行動くれる人を探しています。好きなことを長く続けられる仕事を見つけることが出来ればよいと思います。
- (水澤) 現在取り組んでいる学生たちには先輩NGOの話を聴いて欲しいと思います。みんな悩みながら支援しています。色々な人の話を聴いて、どういうコミュニケーションがいいのかを考えて欲しいと思います。
- (早田) 壁を越える、越境して情報交換すると見えてくるものがあります。こうした交流活動に継続して参加するといいいと思います。



聴かせて
NPO!

✧ちょっと気になるNPO団体を紹介します✧

《一般社団法人ソーシャルビジネス・コンサルタントグループ》

～中小企業診断士グループが非営利団体をコンサルティングでサポート！～

ソーシャルビジネス・コンサルタントグループは、経済産業省から経営コンサルタントの国家資格として唯一認定されている中小企業診断士の集まりです。社会を変えていこうとする人々を強力にサポート。社会課題解決を図るために行動を起こす人や組織に伴走し、持続可能な社会をともに目指します。

♪当センターで行われる「第194回市民とNPOの交流サロン」にご登壇いただきます♪

開催日時：2025年9月11日(木)18時45分～20時45分

参加方法：オンライン(詳細は<https://snponet.net>)

主催・問合せ：新宿NPOネットワーク協議会

語り手：ソーシャルビジネス・コンサルタントグループ

【電話】03-5206-6527 【E-mail】hiroba@s-nponet.net

参加費：無料

後援：新宿区

申し込みは
こちらから



センターからのお知らせ

講座

【会計講座①②③④】 4回で学ぶ会計の基本 ～日常の記入から決算まで!～

【日 時】 ①9月4日(木)②18日(木)③10月2日(木)
④10月23日(木) 各回とも18:45～20:45
【内 容】 会計の仕組みをひと通り学べる講座です。
【講 師】 田中 義幸 氏 (NPO法人日本公会計支援協会
理事長・公認会計士・税理士)
【会 場】 当センター 501会議室
【参加費】 各回1,000円(資料代等)
【定 員】 会場(先着順)20名 オンライン(Zoom)40名

講座

【クラウドファンディング講座】 ～共感と支援を得る仕組みを学ぶ～

【日 時】 9月25日(木)18:45～20:45
【内 容】 クラウドファンディングの解説、共感と支援
を得るためのポイントを学びます。
【講 師】 高畑 未波 氏(READYFOR株式会社
キュレーター・准認定ファンドレイザー)
【会 場】 当センター 501会議室
【参加費】 1,000円(資料代等)
【定 員】 会場(先着順)20名 オンライン(Zoom)40名

交流事業

『NPO×応援団体×共創』～共感から行動へ。アタラシイ応援・支援のカタチとは?～

【日 時】 9月27日(土) 13:30～16:30
【内 容】 社会課題が多様化・複雑化する中で、NPOを応援・支援するあり方も大きく変化しています。
NPOと応援団体が共に未来を見据え、共感を原動力に、具体的な行動へ繋がるための新たな応援・支
援のカタチを探ります。
【会 場】 当センター 501会議室
【対 象】 NPOの活動をしている方・興味のある方。その活動を応援・サポートしようとしている方。
【定 員】 会場(先着順)20名 オンライン(Zoom)40名
【参加費】 無料

※詳細はHPにてご確認ください

- ★参加ご希望の方は、電話、FAX、メールにて、下記お問合せ先へご連絡ください。
- ★講座・イベントは変更・延期又は中止する場合がございます。最新情報等につきましては、当センターHPをご参照ください。【URL:<https://snponet.net/>】

【講座申込フォーム】

《会場参加用》 《オンライン参加用》



情報・お問合せ

TEL : 03-5386-1315 FAX : 03-5386-1318
E-mail : hiroba@s-nponet.net URL : <https://snponet.net>
Facebook : <https://www.facebook.com/shinjuku.npo.center>
X(旧Twitter) : https://twitter.com/s_NPOcenter
Instagram : https://www.instagram.com/npo_kyogi/

アクセス

- 〈バスでお越しになる場合〉(いずれの停留所からも徒歩で4分)
- ・各線 新宿駅 西口より関東バスで「小滝橋」下車(乗車時間10分前後)
西口地下より標柱番号12・14を上った乗場から出るバス(すべて)
 - ・各線 高田馬場駅 早稲田口より都バスで「小滝橋(郵便局前)」下車
(乗車時間5分前後) 早稲田口を出て目の前、高架下の乗場
- 〈最寄駅から徒歩でお越しになる場合〉
- ・東京メトロ東西線 落合駅、西武新宿線 下落合駅より徒歩12分
 - ・JR山手線・東京メトロ東西線・西武新宿線 高田馬場駅、JR中央線
東中野駅・大久保駅、都営大江戸線 東中野駅・中井駅より徒歩15分

作成&発行

新宿区立 新宿NPO協働推進センター
指定管理者：一般社団法人 新宿NPOネットワーク協議会
(〒169-0075 新宿区高田馬場4-36-12)
編集：関根 聡史 林 幸靖 月岡 英人



新宿NPO協働推進センターは、社会貢献活動団体のネットワークづくりの拠点施設です！

センターでは、社会貢献活動団体への施設の貸出しの他、相談や情報提供、講座等、さまざまな事業を実施しています。